

普及現地情報

知事へJA鹿本グリーンハウスミカン贈呈（熊本）

JA鹿本（旧植木町含む）はハウスミカンの県内一の産地です。これから夏季にかけて出荷の最盛期を迎えるにあたって、7月9日に熊本県庁知事応接室にて蒲島県知事へのJA鹿本「夢大地かもとグリーンハウスミカン」の贈呈が行われました。

JA鹿本ハウスミカン専門部は生産者が10名、栽培面積は398aであり、栽培面積は県内最大です。本年度産は6月20日から出荷が開始されており、8月末までに180tの出荷を予定しています。また、JA鹿本ハウスミカン専門部ではオリンピック・パラリンピックへの食材提供を目指し、県版GAP認証の取得の手続きを進めています。

当日はハウスミカン専門部長から知事へミカンが贈呈されました。知事からは「ほのかな酸味があって香りも良く、とても美味しいです。オリンピック・パラリンピックでの提供を実現し、世界の皆さんにそのおいしさを知って頂きたい。」と激励がありました。

農業普及・振興課では、より良い令和元年産ハウスミカンの生産に向けて指導を行うとともに、GAP認証の取得に向け支援を行っていきます。



グリーンハウスミカン贈呈の様子



試食する蒲島知事

種類：イベント

関連する普及課題名：高品質果実の安定生産

HP掲載可否：可

連絡先：県央広域本部

農業普及・振興課 果樹・花き産地づくり支援班

村上 果生